



様式第二号の八（第八条の四の五関係）



（第1面）

## 産業廃棄物処理計画書

令和7年6月24日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県神栖市東和田17番地1

氏 名 三菱ケミカル株式会社

茨城事業所長 加藤 大雄

電話番号 0299-96-1142



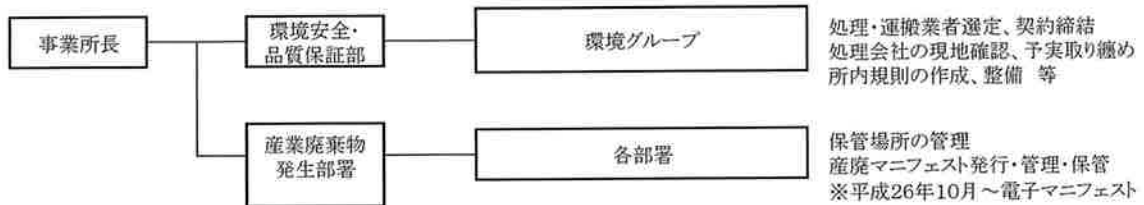
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱ケミカル株式会社 茨城事業所
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田17番地1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	石油化学製品製造業
② 事業の規模	3,721億円
③ 従業員数	863人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

（日本工業規格A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	排出量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	排出量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、汚泥、廃プラスチック類、金属くず、廃酸、廃アルカリ、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、木くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油、汚泥、廃プラスチック類、金属くず、廃酸、廃アルカリ、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、木くず

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 該当なし		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

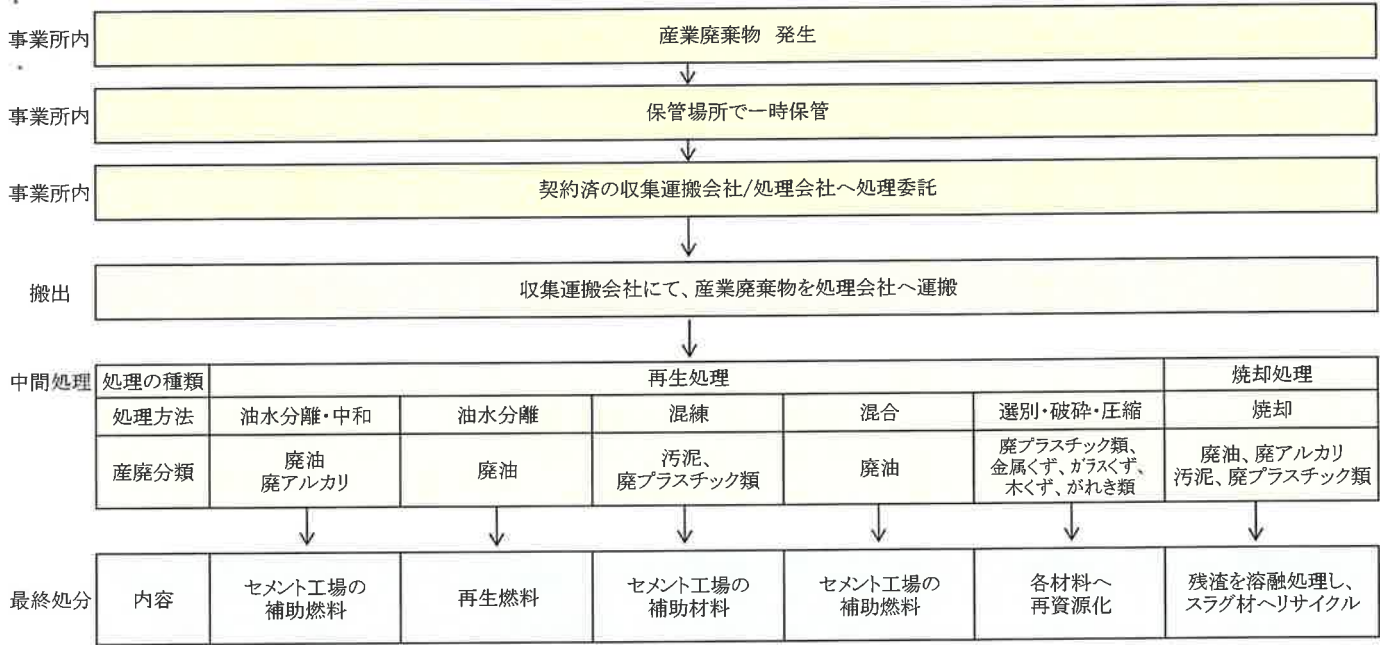
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別紙 3 のとおり		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	全 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】	別紙 3 の通り	
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	全 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程



別紙2  
産業廃棄物の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】											(全体)  (4,270)
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	木くず	がれき類	ゴムくず	廃酸	廃アルカリ	
	排出量(t)	2,291	686	283	86	179	26	60	0	2	658	
	<b>【これまでに実施した取り組み】</b> ・廃油の有効利用先調査 ・金属くずの有効利用先調査 ・廃プラスチック類の有効利用先調査 ・近地処理会社へ優先的に委託し、輸送によるCO2排出量削減											
②計画	【目標(令和7年度)】											(4,195)
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	木くず	がれき類	ゴムくず	廃酸	廃アルカリ	
	排出量(t)	2,096	1,148	494	101	219	17	112	0	2	6	
	<b>【今後実施する予定の取り組み】</b> ・廃油の有効利用先調査(継続) ・金属くずの有効利用先調査(継続) ・廃プラスチック類の有効利用先調査(継続) ・近地処理会社へ優先的に委託し、輸送によるCO2排出量削減(継続)											



## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和6年度)実績】											
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	木くず	がれき類	ゴムくず	廃酸	廃アルカリ	(全体)
全処理委託量	2,291	686	283	86	179	26	60	0	2	658	(4,270)
優良認定処理業者への処理委託量	2,001	686	279	86	179	21	60	0	2	658	(3,971)
再生利用業者への処理委託量	2,214	521	204	86	179	26	60	0	2	157	(3,448)
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	77	165	79	0	0	0	0	0	0	502	(822)
(これまでに実施した取り組み) ・優良認定を取得している処理会社へ優先的に委託 ・優良認定事業者の資格取得を要望 ・現地確認の実施 ・近地処理会社へ優先的に委託し、輸送によるCO2排出量削減											
【目標(令和7年度)】											
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	木くず	がれき類	ゴムくず	廃酸	廃アルカリ	(全体)
全処理委託量	2,096	1,148	494	101	219	17	112	0	2	6	(4,195)
優良認定処理業者への処理委託量	1,939	1,148	494	101	219	17	112	0	2	6	(4,038)
再生利用業者への処理委託量	2,046	1,099	456	101	219	17	112	0	0	0	(4,050)
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	51	49	38	0	0	0	0	0	2	6	(145)
(今後実施する予定の取り組み) ・優良認定を取得している処理会社へ優先的に委託(継続) ・継続した現地確認の実施及び、処理会社とのコミュニケーション強化 ・近地処理会社へ優先的に委託し、輸送によるCO2排出量削減(継続)											